

平成26年度 寄付金会計並びに機構事業のご報告①

事業名：防災シンポジウム

共 催：松山市、特定非営利活動法人日本防災士機構、松山市消防団、
松山市自主防災組織ネットワーク会議、松山市女性防火クラブ連合会、
愛媛大学防災情報研究センター

開 催：平成27年1月18日（日曜）9時～12時

参加者：約930名（防災士、市民）

会 場：松山市総合コミュニティセンター
（愛媛県松山市湊町七丁目5）

行事内容：松山市は、自主防災組織の「防災リーダー」として活躍している防災士数が2,332名（平成26年12月末）と全国一であることから、「防災シンポジウム」を開催し、自主防災組織や防災士の活動事例の発表や、パネルディスカッションを通じて、地域防災力の充実強化の必要性を広く市民に啓発することを目的とする。
詳細は次頁以降参照（日本防災士機構ホームページより）。

寄 付 金：平成25年度寄付金繰越額	1,881,232円
平成26年度寄付金総 額	2,417,100円

当事業費用総額	200,000円
＜費用内訳＞	
開催助成金	200,000円

松山市と機構の共催。930名参加

防災シンポジウム(平成27年1月18日開催)

日本防災士機構は、防災士養成数が自治体において最大である愛媛県松山市と共催にて、平成27年1月18日(日)、松山市総合コミュニティーセンターにおいて「防災シンポジウム」を開催しました。

シンポジウムには、愛媛県 中村時広知事、松山市 野志克仁市長他、市民及び関係者の約930名が参加しました。当機構から鈴木理事長と玉田専務理事が参加し、鈴木理事長が祝辞を述べたほか、東日本大震災の被災地である宮城県仙台市福住町町内会長の菅原康雄氏より、実体験談での講演が行われました。

また、愛媛大学の矢田部教授の講演や久枝地区の事例発表も非常に良かったという意見を多くいただきました。

パネルディスカッション「地域のきずな ～地域をつなぐ防災士の活動～」では、自主防災組織、学校、幼稚園、民間企業、消防団の防災士5名に討論していただき、それぞれの立場から地域の中で相互に連携して地域の防災力を高めるための意見をいただきました。

当日は、有意義なシンポジウムとなり、盛会のうちに終わることが出来ました。

地域のきずな

防災シンポジウム

平成27年1月18日 9時から12時
松山市総合コミュニティーセンター

“一人でも多くの人を笑顔に 幸せ実感都市 松山”

松山市では、「健康 防災安心で幸せ実感」を基本政策の一つに選択し「防災に強いまちづくり」を積極的に取り組んでいます。

危機管理文化の向上のため、自主防災組織にリーダーとなる防災士の養成を重要なものと見、災害時に必要な防災安全を守るため、市内の小中学校、幼稚園、保育園にも防災士を養成しています。

私自身も、防災の知識や経験、意識を高める、本市の防災にしたいという思いで防災士の養成を受けました。平成27年度15期生募集、本市防災士の数は約12,300名で他県でもトップクラスです。

今後も、防災と行政がそれぞれの役割の中で、お互いの強みを活かしながら防災活動も進めたいと考えています。市民の連携に取り組む、更なる防災力の向上を目指してまいりますので御協力をお願いします。

松山市長 野志 克仁

防災シンポジウム

平成27年1月18日 9時から12時
松山市総合コミュニティーセンター

■プログラム

第1部	9:00	開会式・表彰式
第2部	9:20	障り始めよ ～被災地を力強く支えるために取り組む地域力～ 登壇 藤島 寛昭(東洋建設自由市災後復興支援財団内会長)
		近年の自然災害と防災士の役割 矢田部 隆一(愛媛大学防災危機研究センター長) 松山市自主防災組織の活動事例 川口 忠夫・森川 孝吉(久枝地区自主防災会連合会)
第3部	11:00	パネルディスカッション 地域のきずな ～地域をつなぐ防災士の活動～ コーディネーター 矢田部 隆一(愛媛大学防災危機研究センター長)
		登壇 藤島 寛昭(東洋建設自由市災後復興支援財団内会長 防災士) 山田 結二(松山市立南小学校教諭 防災士) パネリスト 村上 徳美(松山市立石谷幼稚園教諭 防災士) 安田 和美(ダイキ株式会社 防災士) 長谷 隆一郎(松山市消防団 連絡対候員)
	12:00	閉会

■出演者紹介

障り始めよ ～被災地を力強く支えるために取り組む地域力～

登壇 藤島 寛昭 東洋建設自由市災後復興支援財団内会長

近年の自然災害と防災士の役割

矢田部 隆一 愛媛大学防災危機研究センター長

松山市自主防災活動事例

川口 忠夫 (久枝地区自主防災会連合会 代表理事)
森川 孝吉 (久枝地区自主防災会連合会 代表理事)

パネルディスカッション(パネリスト)

藤島 寛昭 (東洋建設自由市災後復興支援財団内会長 防災士)
山田 結二 (松山市立南小学校教諭 防災士)
村上 徳美 (松山市立石谷幼稚園教諭 防災士)
安田 和美 (ダイキ株式会社 防災士)
長谷 隆一郎 (松山市消防団 連絡対候員)

コーディネーター 矢田部 隆一 (愛媛大学防災危機研究センター長)

■開催状況

第1部



キャメリアホール 入場者



開会あいさつ 松山市長 野志克仁氏



来賓あいさつ 愛媛県知事 中村時広氏



来賓あいさつ 日本防災士機構 理事長 鈴木正明



来賓者及び主催者紹介



来賓者及び主催者紹介



きらめき松山市民賞表彰「防災士表彰」個人



きらめき松山市民賞表彰「防災士表彰」団体

第2部



「隗より始めよ ～悔るな地域力 出来るだけ行政に頼らない地域力～」
宮城県仙台市宮城野区福住町町内会 会長 菅原康雄氏



「近年の自然災害と防災士の役割」愛媛大学防災情報研究センター長 矢田部 龍一氏



「松山市自主防災組織の活動事例」 久枝地区自主防災会連合会 川口忠夫氏・森川孝吉氏

第3部

パネルディスカッション 地域のきずな ～地域をつなぐ防災士の活動～ コーディネーター

矢田部 龍一(愛媛大学防災情報研究センター長)

パネリスト

藤島寛昌(東雲地区自主防災会連合会会長 防災士)

山田耕二(松山市立椿小学校教頭 防災士)

村上直美(松山市立石井幼稚園教諭 防災士)

安田和美(ダイキ株式会社 防災士)

烏谷陽一郎(松山市消防団 道後分団長)



パネルディスカッション「地域のきずな～地域をつなぐ防災士の活動～」
コーディネーター 愛媛大学防災情報研究センター長 矢田部 龍一氏



パネリスト(左から 矢田部 龍一氏、藤島寛昌氏、山田耕二氏)



パネリスト(左から 村上直美氏、安田和美氏、鳥谷陽一郎氏)

展示ブース コミュニティプラザ



少年消防クラブ作成「子供版防災マップ」



愛媛大学防災情報研究センター 防災パネル展示



防災物品展示 ダイキ株式会社